

本日の討議テーマ

日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会
第3回マネジメントWG

2018年2月2日(金)15時～18時

本日の論点:(テーマI) 加盟要件、設立趣意書案

I. 新組織の加盟要件、設立趣意書案について

背景

- ① 平成30年度中の新組織の創設に向けて、具体的な条件は平成30年度に当事者間で検討・決定されることを予定するものの、今後のスケジュールを勘案すると、今年度中に賛同団体集めを開始する必要があると考えられる
- ② 賛同団体を集めるに当たっては、各ステークホルダーがどのように新組織に関与すべきか、また、各ステークホルダーに対する加盟要件、加盟のメリット等の方針を予め整理する必要がある

論点

- ① 加盟を想定する団体の中で、競技団体（学連・NF等）にとっての加盟のメリットとして、新組織のサポートによる「スポーツの安全性の向上」、「大会の活性化」や「オペレーションの効率化」等が考えられるが、具体的にどのような連携が考えられるか
- ② 加盟団体数として「200大学+40競技団体」の規模を想定した場合に、新組織のスタート時点において、賛同団体に対して、どのような加盟要件を設定すべきか
(例) 会員: 日本版NCAAの理念への賛同、スポーツ振興に取り組む意思の有無、等
- ③ 設立趣意書案に記載すべき事項は何か

II. 新組織のスタート時点で最低限必要とされる機能・機関について

背景

- ① 学業充実WG、安全安心WGにおいて、それぞれ全3回の討議が実施され、それぞれの討議を通じて、新組織に必要とされる機能が洗い出された状況である
- ② 第1回マネジメントWGにおいては、新組織の加盟団体の規模感を想定せずに幅広くアイデア出しを行ったが、加盟団体数として「200大学+40競技団体」という規模感を想定した上で、最低限必要とされる機能・機関について改めて整理したい

論点

資料2に示した新組織に必要とされる機能・機関に関する事務局案に対し、

- ① 各WGにおける検討結果等を踏まえ、加盟団体数として「200大学+40競技団体」の規模を想定した場合に、新組織の設立後に最低限必要となる機能・機関は何か
(例) 安全・安心向上⇒安全・安心委員会、
大学スポーツの活性化⇒事業・マーケティング委員会、関係者間調整、情報共有、意見収集⇒事務局
- ② 新組織の必要機能・機関を新組織の設立時に具備するために、優先的に検討すべき項目は何か
(例) 新組織への経済的支援、人的支援、制度的支援、等

Ⅲ. 新組織の自立的運営に向けたスポンサーの獲得策について

背景

- ① 新組織の設立により、学業充実や安全安心といった機能の提供や組織の維持のために一定のコストの発生が見込まれるが、これらコストを賄うための資金を獲得する必要がある
- ② 新組織を自立的に運営していくための資金獲得策として、中長期的には様々な事業展開が考えられるものの、設立当初から見込まれる形として「スポンサーの獲得」が考えられる

論点

- ① 新組織を初期段階から自立的に運営していくため、必要なスポンサー収入を獲得するための合理的に説明し得るスポンサーメリットとは何か
(例) 運動部学生へのアクセス権、共通プラットフォーム、セミナー等への広告、等
- ② 新組織へのスポンサーの候補として、具体的にどのような業界が親和性が高いと想定されるか